

Final Asssignment

武蔵野大学データサイエンス研究科 1 年 g2450003 谷川雄一

① Web Service の URL

<https://muds.gdl.jp/g2450003/>

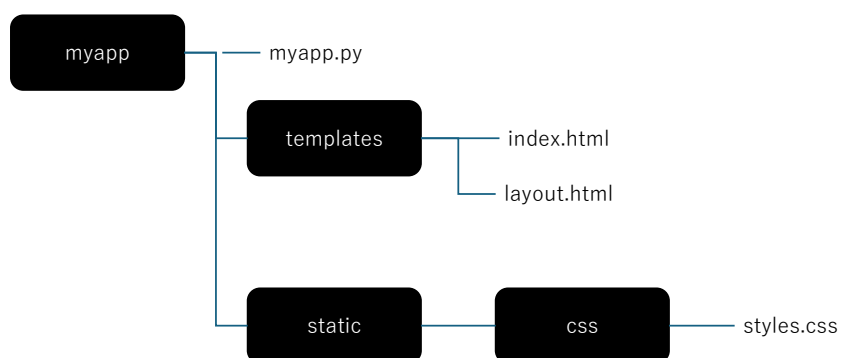
② タイトル

『街をライブハウスに』

③ 概要

ミュージシャンのユーザーが路上ライブをした際に、その体験を書き込み、地図で共有することができるウェブサービスを構築した。具体的にはユーザーが場所とアーティスト名（ユーザー名）、セトリ、投げ銭額、ライブをした日付を書き込むと、postgreSQL 上のテーブルに挿入され、Openstreetmap を介して、地図上で可視化することができる。

以下はプロジェクト構造である。



④ 拘った点

～全体を通して～

- ・ flask を用いてバックエンドとフロントエンドの切り分けを明確にできた。
- ・ 少しだが、CSS での装飾に手を伸ばすことができた。
- ・ 記録フォームとマップのみのシンプルな構成にした。マップから探す楽しみを味わって欲しく、あえて検索窓はつけていない。

～部分的には～

- ・ 同じ場所に複数のユーザーが何回でも記録をできるようにした。これにより、ユーザーは日記のようにこのサイトを使ってくれるかもしれない。また、日付は未来でも記録できるので違うユーザー同士で対バンの計画を立てることができる。Entries テーブル（ユーザーの入力が全て格納されてるテーブル）は場所 id を外部キーとして同じ場所で複数のエントリーを可能にする実装を行なった。
- ・ セトリを5曲まで載せられるようにした。これにより、ユーザーは演奏の順番に記録をしたり、後から振り返る際により正確な情報を得ることができる。Index.html 上で5つの曲のフィールドを用意してデータベースに保存する時には1つのカラムに格納されるように実装した。

⑤ 課題

- ・ CSS の実装コードを見直し、もう少し見た目を改善したい。
- ・ ユーザーが場所自体を追加できるようにしたい。
- ・ その場所の平均動員数や平均投げ銭額なども閲覧できるようにしたい。
- ・ メッセージを残せるような機能をつけたい。